

令和2年度第1回庄内町男女共同参画社会推進委員会 会議録

- 1 開催日時 令和3年3月16日(火) 18時00分～19時50分
- 2 開催場所 庄内町役場B棟 会議室4
- 3 出席委員 石川精一、水尾理恵、佐藤彰一、加藤容、松田透
- 4 事務局 佐藤企画情報課長、阿部課長補佐兼企画調整係長、日向

1 開 会 (18:00)

2 委員長あいさつ

3 諮 問

4 協 議

第3次庄内町男女共同参画社会計画の推進についての答申内容の確認

【事務局】事前にいただいた意見を元に答申案を作成。削除の部分は、意見を元に重視したい部分を目立たせるために項目削除を行っているだけでやらないというものではない。皆さんから意見を聞いて、残すべき・修正すべきを確認したい。

(1) について：特になし

(2) について

【委員】「政治」は文言として広すぎる。もう少し具体的な言葉を。議会中継を見ていたが、女性課長3名の答弁がすばらしかった。

【委員】女性課長は14名中3名で21.4%とのことだが目標はあるのか。

【事務局】30%となっている。国の第5次計画ではいつまでという期限を決めず「すみやかに」という文言になった。能力でふさわしい人が課長になっている。女性の課長を増やすにはまず課長補佐を増やしていく必要がある。

【委員】議員も増やしていくべき。

【事務局】議員なり手不足検討委員会で今年度様々取組がなされ、来年度女性を対象にした模擬議会をやるように聞いている。今年度行っている参考人招致も、自分が発言した意見がこれから具現化していけば議会で話す意味や楽しさも伝わっていくのでは。

【委員】議員はハードルが高いため、議員にならなくても意見を言える場を設けるといった形もいいのでは。

(3) について

【委員】料理教室の参加者はいかがか。

【事務局】公民館事業や国際交流協会が開いている料理教室などは結構参加者もいるようだ。

【委員長】男性の料理も男性の自己満足になっている場合もある。

【委員】子育て相談を行う窓口は。父親もくるのか。

【事務局】子育て支援センターがあるため、遊びに連れてきながら適宜相談もしているようだ。子育て支援センターにいらっしゃるのは母親も多いかもしれないが、休日は父親と来ている子も多い印象。

【委員長】母親同士はよく集まって話す場があるが、父親はあまりそういう場を作らない。そのため昨年「パパ友サークル」という表現を入れた。父親同士で話すような場はやはりないものか。

【委員】友達同士の飲み会等で交流があったりする。

【事務局】スポ少やPTAで知り合って、仲良くなってずっと交流が続いていることもある。

【委員】新型コロナの影響で働き方の環境も変わった。男女共同参画の課題になっていることについても変えていくチャンスなのでは。

【委員】新型コロナで親同士集まる機会や飲み会などの場もなくなり、知り合う場も減ってしまった。仕掛けていく必要もあるのでは。

【委員】コロナの影響が続いて、この環境下で開催できる方法を模索していく。そういう状況が続いていくのでは。

【委員長】会えない状況を逆手にとって、オンラインで相談したり集える場を仕掛ける。SNS上で集まれる場をセッティングする等ならすぐできるのではないか。

【事務局】SNSの活用の点では、現在始まっているが、LINEで町に関する情報を流したり自動応答で24時間問合せできるようになった。4月からさらに内容を充実して運用が始まる。

【委員】そうしていかないと駄目だ。広報は見ないし、広報に載せて「周知した」と言うのは逃げ道。

(4) について

【委員長】講師派遣等はあるのか。

【事務局】商工観光分野の方はわからないが、男女共同参画分野でいえば、県の推進員に講師を依頼する方法はある。今年度オンライン化が進み、県ではオンラインを活用したセミナーや講演等を結構開催しており、内容もなかなかいい。昨年度までは県庁まで行かなければならなかった。

【委員長】「オンライン」の文言を追加しては。

(5) について

【委員長】「連携」という言葉はあっても町民に結果が共有されていない。

【委員】都会と田舎の違い、田舎の良さをワードに入れるべき。「地域で子どもを見守る」「地域での初期の発見・声掛け」このような文言。

【委員】人権問題については、法務局で相談があれば相談員がついて取り組んでいる。

【事務局】「関係機関」を具体的にするため「児童相談所」「法務局」を入れる。

(6) について

【委員長】ランドセルの人気の色は。

【委員】スカイブルーが人気。キャメルも人気なようだった。また、中学校の制服はスラックスもOKになる方向で進めているとのこと。混合名簿もどんどん進んでいるので、町が音頭をとって進めていけばすぐ変わるのでは。

【委員長】逆に町が音頭をとっていかないと学校も戸惑うのでは。

【委員長・委員】昔は女子にもスラックスがあった。いつのころからなくなった。

【委員】多様性について学ぶという意味でも、小さいころから「LGBT」について知っておくべきだと思う。文言を足しては。

【委員】先進地でどのような言葉が使われているか調べてみては。

(7) について

【委員長・委員】男女共同参画の視点からも消すべきではない。

【委員長】「努力していく」等の言葉だけで、やっている部分が一向に見えてこない。成果を目に見える形で提示してほしい。

【委員】女性の視点に限定しないで「身障者」等の文言も入れては。

●ほか意見

【委員】(1) について、「周知」の具体的方法を入れた方がいいのでは。

5 その他

答申日：3月26日(金)13:30 予定

6 閉 会

(19:50)